



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

会報 福鍼会だより 第116号

福鍼会だよりは会報となりました

発行：社団法人福島県鍼灸師会／発行日：平成24年8月27日

一般社団法人への移行の内諾の答申出される

かねてより準備を進めていました新法人移行についてですが、6月6日に電子申請をし、8月10日に審査委員会より一般社団法人への移行の内諾の答申が出されました。これにより、本会は法人格を失うことなく、活動を続けられるようになりました。

なお、新法人への登記は平成25年4月1日におこなうことになっています。来年度の総会では、みなさんと一緒に新法人への移行を祝いたいと思います。

夏季学術講習会が開催されました

平成24年8月5日に、郡山駅前ビッグアイの市民交流プラザ会議室で、本会の夏季学術講習会が開催されました。

第1部は「産婦人科の診療について」と題し、いわき市立総合磐城共立病院産婦人科部長の本多つよし先生による講演がありました。

第2部は「次世代鍼灸ビジョンと方針 ー鍼灸を活用した新しい日本型医療の実現ー」と題し、公益社団法人日本鍼灸師会副会長の小松秀人先生の発表がありました。

第3部は、ワークショップ「国民のための鍼灸師法を考える」で、本会の中沢良平先生と今泉洋平先生がファシリテーターとしてグループワークしました。

第4部は、福島県保健衛生学会の東日本大震災口演で発表予定の演題名「鍼灸治療と運動指導による避難所での支援活動」を、副会長の中沢良平先生が事前発表しました。また、東北鍼灸学会学術大会秋田大会で発表する永山剛士先生が「私たちの鍼灸院」、同じく今泉洋平先生が「運動指導を併用した膝関節痛の一症例」と題して、事前発表しました。



WS「国民のための鍼灸師法を考える」

＜参加者からの感想＞

小松副会長が冒頭「自分たちよりも次世代の人たちが食えるようにしていかないといけない」と強調されていたのにちょっと感動しました。

WSに参加することにより、自分の疑問点、鍼灸師法の必要性等がはっきりと認識でき、大変良い機会となりました。

新法人移行によって、従来の活動からさらに公益性のある活動が求められるようになりました。

このことにより、従来の会報は「広報 ふくしんかい」として一般県民に提供するものになり、「福鍼会だより」は、会員用に向けた会報として発行することになりました。

みなさんと一緒に新しい紙面作りをしますので、よろしくお願ひします。

情報提供は、広報担当の山内事業部長まで

電話 0242-33-1548 / E-mail : hokendo.yamauchi@gmail.com